

図書館 特別展 「五日市憲法草案」

専修大学図書館特別展「フランス革命と自由民権」(11月19日～26日)で、「五日市憲法草案」(複製)が本学で初展示された。明治時代前期の自由民権運動期に編まれ、民主主義の志に重きを置いたものだ。今年10月に79歳の誕生日を迎えた皇后陛下が言及し、「世界でも珍しい文化遺産」と深い感銘を受けたことを明らかにした。発見者の一人である新井勝敏文学部教授(近現代史)に当時の様子と、同憲法の意義を聞いた。

「まさに民衆憲法の名にふさわしい」

45年前の発見現場にいた新井教授 79歳の誕生日 皇后陛下が言及



▲全204条から成る「五日市憲法草案」ニ生田キャンパスの図書館特別展で



▲起草者の千葉卓三郎の写真を前に「五日市憲法草案」発見時を語る新井教授

「私の一生を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

この年は、明治100年。その意義を、地域から検証しようとするゼミ活動の調査だった。長年閉ざされ朽ちかけた蔵に、かねて注目していた色川

「私の一生涯を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

「私の一生涯を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

「私の一生涯を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

「私の一生涯を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

「私の一生涯を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

「私の一生涯を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

「私の一生涯を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

「私の一生涯を決めた出会いでした」。残暑厳しい、1968年8月27日、東京経済大の色川大吉教授(当時)の下で、近代史を学ぶゼミ生10人が、山深い人里離れた谷間にある東京・西多摩郡五日市町(現・あきる野市)の旧家の土蔵を訪ねた。当時のゼミ長が大学4年だった新井教授。

と、ほかの憲法草案の写しではない、明治憲法よりも前に起草された三多摩地方の私擬憲法であることが分かった。第一級の史料の発見による卒論となった。のちに「五日市憲法草案」と命名された。1881年(明治14)に誕生した「五日市憲法草案」は、宮城県出身で各地を放浪したのちに五日市に移り住んだ小学校教員の千葉卓三郎が、地元青年たちと討論を重ねて練り上げた。

全204条におよぶ条文は、自由民権運動のうねりの中に生まれた多くの私擬憲法のなかでも、とりわけ基本的な人権など国民の権利尊重の色合いが濃い。

「今の日本国憲法にはほぼ匹敵する先駆的な内容が織り込まれている。このような憲法が無名の民によって構想されていた。まさに『民衆憲法』の名にふさわしい」と新井教授は分析する。

新井教授はこの発見を機に、自由民権運動の地域での展開とその伝承を研究テーマとした。東京都町田市の自由民権資料館の開設にも尽力。新井ゼミでは軍事郵便の解説という独特な手法で戦争を考える活動を進めている。それらの根元にあるのは、突き上げるような情熱で時代に対峙した、民衆のまなざしだ。「あの発見があったからこそ」。

新井教授はもう一度繰り返した。*

新井教授はもう一度繰り返した。*

新井教授はもう一度繰り返した。*

新井教授はもう一度繰り返した。*

と、ほかの憲法草案の写しではない、明治憲法よりも前に起草された三多摩地方の私擬憲法であることが分かった。第一級の史料の発見による卒論となった。のちに「五日市憲法草案」と命名された。1881年(明治14)に誕生した「五日市憲法草案」は、宮城県出身で各地を放浪したのちに五日市に移り住んだ小学校教員の千葉卓三郎が、地元青年たちと討論を重ねて練り上げた。

全204条におよぶ条文は、自由民権運動のうねりの中に生まれた多くの私擬憲法のなかでも、とりわけ基本的な人権など国民の権利尊重の色合いが濃い。

「今の日本国憲法にはほぼ匹敵する先駆的な内容が織り込まれている。このような憲法が無名の民によって構想されていた。まさに『民衆憲法』の名にふさわしい」と新井教授は分析する。

新井教授はこの発見を機に、自由民権運動の地域での展開とその伝承を研究テーマとした。東京都町田市の自由民権資料館の開設にも尽力。新井ゼミでは軍事郵便の解説という独特な手法で戦争を考える活動を進めている。それらの根元にあるのは、突き上げるような情熱で時代に対峙した、民衆のまなざしだ。「あの発見があったからこそ」。

新井教授はもう一度繰り返した。*

新井教授はもう一度繰り返した。*

新井教授はもう一度繰り返した。*

新井教授はもう一度繰り返した。*

◆新井ゼミが従軍カメラマン遺作写真展◆ 兵士の日常を記録

「柳田美緒写真展」の戦地発・写真でつなぐメッセージ」が専修大学サテライトキャンパスで11月7日から12日まで開催された。

写真展は、軍事郵便を読み解くことで戦争を考へて練り上げた。全204条におよぶ条文は、自由民権運動のうねりの中に生まれた多くの私擬憲法のなかでも、とりわけ基本的な人権など国民の権利尊重の色合いが濃い。

「今の日本国憲法にはほぼ匹敵する先駆的な内容が織り込まれている。このような憲法が無名の民によって構想されていた。まさに『民衆憲法』の名にふさわしい」と新井教授は分析する。

新井教授はこの発見を機に、自由民権運動の地域での展開とその伝承を研究テーマとした。東京都町田市の自由民権資料館の開設にも尽力。新井ゼミでは軍事郵便の解説という独特な手法で戦争を考える活動を進めている。それらの根元にあるのは、突き上げるような情熱で時代に対峙した、民衆のまなざしだ。「あの発見があったからこそ」。

新井教授はもう一度繰り返した。*

新井教授はもう一度繰り返した。*

新井教授はもう一度繰り返した。*

都合により記事を掲載いたしません。紙面をご覧ください。



▶新井教授とゼミ生

「自然環境と人間生活の接点を考える」融合領域科目へ向けた研究会開催



▶井上准教授



▶佐藤准教授

最終講義のご案内

教室

教室

ホームページモニター募集

最終講義のご案内

教室

教室

教室